

日時：2026年3月4日（水） 16:00-16:40

出席者：横山、木野、野上、泉浦、田實、前原

1. 2026B 観測期間、夜数

● 期間

7月21日（火）開始 - 12月28日（月）終了 →161夜

※6-7月のメンテナンス等の予定は大きなものはない見込みなので、例年通り7月下旬に開始する。

● 内訳

エンジニアリング時間

望遠鏡 4.5夜

TriCCS 3.75夜（内訳：維持 0.75夜+SPAD試験 3夜）
→1夜

※共同利用に供さない機能の試験に共通のエンジニアリング時間を使うことの是非が議論され、京大時間にプロポーザルを出して時間を獲得し、その中で実施するのがよいだろうとの結論になった（これまでもインドネシア用のカメラや IMONY は京大時間にプロポーザルを出してその中で試験を実施してきた）。

→最終的に、装置の維持のための1夜のみエンジニアリング時間として割り当て、SPAD試験用の時間は別途京大時間にプロポーザルを出してもらうこととなった。

GAOES-RV 3.0夜

SEICA 1.0夜

MIDSSAR 1.5夜

自動観測 2.5夜

KOOLS-IFU 0夜

IRS 0夜

計 16夜

天文台時間（現地職員向け）：京大7+NAOJ4 →11夜

天文台時間（アウトリーチ）：0.5夜

エンジニアリング時間+天文台時間の合計：27.5夜

サイエンス時間：133.5夜（共同利用、京大時間それぞれ66.75夜）

2. 共同利用の公募スケジュール

公募開始：3月27日（金）

締切：4月27日（月）

審査開始：5月8-11日

審査締め切り：6月11日

せいめい小委員会による採否・採択夜数の決定：6月22-26日

※京大時間の採否、採択夜数も6月26日までに決める。

日程調整：6月29日-7月3日

ユーザーへ観測日程の通知：7月6日

3. その他

エンジニアリング時間に申請する内容に関する注意を京大岡山関係者内に共有することとした。